

W A K O C I R C L E

CONTENTS

和光大学通信
No.
138
2015/04/01

- 新入生へのメッセージ ●ワコメシ
- 大学で活動していいとも! ●和光はてな見聞録/伝書ばとん
- Campus Snap (和光あるあるを教えてください) ●学生スタッフ募集
- MY CHOICE (原田尚幸先生)





新入生へのメッセージ

大学院

経済経営

表現

現代人間

副学長

学長



学長
伊東 達夫

自らの秘めたる力を引き出せ

新入生の皆さん、大学生になった気分はいかがですか。高校時代とは違い、時間の使い方も行動範囲も自分の思い通り、まさに自由を謳歌できるということでしょう。大いに大学生活を楽しみましょう。同時に、大学生として、社会人として責任ある行動をとっていただくことも、切に願います。

さて、和光大学には約三千名の学生が在籍し、それぞれの目標に向かって日々の学修に励んでいます。そこで、学長から一言。目標実現のために主体的に行動しましょう。その過程の中で、自分をしっかりと見つめ、自分の奥に秘めた能力を引き出してください。他の人とは異なる「自分だけの固有の力」をみんなが持っています。ただ、その力がどこに眠っているのか誰にも分かりません。その発見のために、私達は、専門科目で興味関心を深め、外国語・共通教養科目で視野を世界に広げるとともに、友達や先生と交流し議論をします。現実の問題に思い切つてぶつかってください。そこで勝ち得た現状に妥協しない自らの奥に秘めた力、これこそ四年後に社会に出て行くための大きなパワーになると信じます。

●先生の考える和光大学生らしさは？

誰もが気軽に声をかけ合っているところ

●大学時代に読んでおくといとお勧めの1冊は？

ジャン・ジャック・ルソー
『人間不平等起源論』

ルソーの「社会で生きるとはどういうことか」の古典です。社会人としての物の見方・考え方を教えてくれる名著です。



現代人間学部長
伊藤 武彦

和光大学で『冒険』しよう

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの大学生活が充実したものになるように心から支援していきます。

自分づくりのための冒険を、授業、サークル、読書、旅行などさまざまな場所と活動でチャレンジしてください。トム・ソイヤのように、毎日をハラハラ、ドキドキの冒険で、楽しい学生生活を送ってください。そのような『冒険家』にとって和光大学は自由と可能性にあふれ解放感いっぱい大学です。

「教えるとは希望を語ること、学ぶとは誠実を胸に刻むこと」とはフランスの詩人ルイ・アラゴンが『ストラスブル大学』のなかで語ったことばです。わたしも皆さんと一緒に、知的な冒険をおして希望を語り、誠実を胸に刻んでいきたいと思えます。

●先生の考える和光大学生らしさは？

失敗を恐れず

冒険とチャレンジができること

●大学時代に読んでおくといとお勧めの1冊は？

向谷地生良
『安心して絶望できる人生』

人は誰でも弱さを持っています。精神障がい者の当事者研究から自分を助ける方法のヒントを学びましょう。



副学長
加藤 三由紀

キャンパスで「不思議」を探そう

まず、キャンパスを探索しましょう。和光のキャンパスは丘の傾斜を使っています。同じ平面にあっても建物によっては階が違う不思議な構造です。また、多様な科目、多彩な大学人のために、よそにはちょっとないような空間もあります。E棟の屋上にいけば、キャンパスの広がりが見渡せます。門も扉もない大学なので、大学の敷地の向こうが学びの場になるかもしれせん。探索中に、「あれ？」「おお！」と感じる不思議な光景に出会えば、そこから思考を深める視界が開けます。

大学での学問は、「問い」から始まります。それには日常の中に「不思議」を見つける感性と行動力が大切です。このキャンパスで皆さんが、感動とともに「問い」を与えてくれる「不思議」に出会えますように。

●先生の考える和光大学生らしさは？

色とりどりを尊ぶところ

●大学時代に読んでおくといとお勧めの1冊は？

レイチェル・カーソン
『センス・オブ・ワンダー』

写真とエッセイの小さな本、自然や生命の不思議さに驚嘆させられます。学問の原点です。図書・情報館で手にとって下さい。



表現学部長
浅見 克彦

自分の道を見つけていこう

新入生の皆さん。いまあなた方は、将来に通じる新たな道を前にして不安も感じているでしょう。どこをどう行ったらいいかわからない迷路を前にした感じ。これは、たしかに不安です。

とはいえ大学では、実社会とは少し違って、ある程度は後戻りややり直しがききます。ですから、道に迷ったら、改めて自分の選択について考えなおせます。そう、大学とは、自分で道を選ぶようになるためのトライアルでもあるのです。遠回りややり直しを恐れずに、自分の道を見つけてください。これもまた、アリなのです。

●先生の考える和光大学生らしさは？

個人的な考えに過ぎませんが、
「自由な学問」ですかね

●大学時代に読んでおくといとお勧めの1冊は？

ジャン・ポール・サルトル
『存在と無』

学生時代に必ず古典と哲学に触れてほしいです。



副学長
樋口 弘夫

学びの面白さを見つけよう

「ただ座って先生の講義を聴いている時の脳の活動は、眠っている時と同じである」つまり、受動的に講義を聴いているだけでは「深い学び」につながらない、ハーバード大学のE・マズール教授が2012年京都大学で行った講演での言葉です。経済経営学部の1年次必修科目ではグループ討論と発表を行います。最後に「充実した授業とは何か」の課題で発表を行ったところ、「参加意識を高められる授業」が最も多くの共感を得ました。和光大学はこれまでも「学ぶ者中心の教育」に取り組んできました。皆さんも教室でただ座っているだけのお客さんにならず、積極的に授業に参加して「深い学び」の面白さを見つけてください。

●先生の考える和光大学生らしさは？

「一生懸命やること。・自分の感覚を信じること。・実際はカッコ悪くてもカッコよく生きようとする」と。(佐久間正英さんの言葉から)

●大学時代に読んでおくといとお勧めの1冊は？

ヴィクトール・E・フランクル
『夜と霧 新版』

人間とは何だろうか？深く考える機会となった本書。2002年に新版が出たので、この機会に是非読んでみては。



経済経営学部長
半谷 俊彦

思索に満ちた生活を送ろう

大学は、専門知識とそれを使いこなすための教養を身につける場所です。しかしその奥に隠されている本当の目的は、何事においても、自分で考え、自分で結論を導く力を養うことにあるのではないのでしょうか。その目的を達成するために、常識とされているあらゆることに、誰かに教えられるあらゆることに疑いの目を向け、本当にそうか自分で思索するくせをつけて下さい。その繰り返しは、皆さんに深い知性をもたらせることでしょう。

●先生の考える和光大学生らしさは？

学生がキャンパスで思い思いに
時を過ごしているところ

●大学時代に読んでおくといとお勧めの1冊は？

アーサー・C・クラーク
『幼少期の終わり』

楽しく読めるSF小説ですが、「生命」とは、「事実」とは、「時間」とは何かなど、哲学的な思索に読者を導く良書です。



大学院
社会文化総合
研究科委員長
岩間 剛一

大学・大学院で学ぶことは

大学・大学院で学ぶことは、いったいどういうことでしょうか。一言で説明することは難しいことです。しかし、これからの長い人生を生きていくうえで、必要な知識、教養を身につけ、学生から社会人となる基礎を形成する場所が、大学であり、大学院であるといえます。もちろん、現実とはかけ離れた机上の空論を振り回すだけの場所ではありません。今生きている現実を冷静に見据え、有名な経済学者であるアルフレッド・マーシャルの言葉のように、「冷静な頭と温かい心 (Cool Head and Warm Heart)」を持った人間に成長することが、大学・大学院で学ぶことに他ならないことなのです。

●先生の考える和光大学生らしさは？

学生と教員の距離が近く、常識にと
られない創造的な発想力を育てる
こと。

●大学時代に読んでおくといとお勧めの1冊は？

スタンダール
『赤と黒』

大学生という人生の中で、一番自由に思索できる4年間という時間を有効に使い、人間とは何か、生きることとは何か。そうした根源的な問題を考えるうえで、読むことに時間が必要な大作ではあるものの珠玉の1冊です。

ひとことカード 食堂に関するものをご紹介



ひとことカードとは学生が気軽に要望・感想を伝えることのできる制度のことで、生協購買部の入り口付近で手に入れることができる。記入したカードはそれぞれ担当の方が返事を書いて、購買部前の掲示板に貼り出している。今回はそのほんの一部をご紹介。

【意見・質問・要望・・・etc】

肉は国産ですか？

【回答・お返事】

メニューにより使用している食材が違います。
大学生協の「学食どっとこーぷ」で検索してみてください。
<http://gakushoku.coop/>

【意見・質問・要望・・・etc】

カット果物がほしい

【回答・お返事】

果物の大量入荷が難しく、価格も安定していません。安価での提案が難しいので提供していません。ごめんなさい。

【意見・質問・要望・・・etc】

ラーメン、うどんの麺だけ
カレーのルーだけを
販売して下さい。

スンドゥブにラーメン入れたい。

【回答・お返事】

・カレーのルー復活します。
151円で提供します。カレーコーナーで注文して下さい。
・めん類の別盛り(1玉)始めます。
1玉64円で別皿で提供します。
(めん別盛り、12:00-13:00は提供できません)
(混雑時)

手話ランチ

こんなランチタイムもありかも！



手話ランチ

お問い合わせは学生支援室まで (A棟3階)

「手話ランチ」をご存知だろうか。和光大学には多くのろう学生がいるのだが、その学生が中心となって、ランチをしながら、気軽に手話と触れ合おう！という企画である。今回はその中から身体環境共生学科2年の長谷川翔平さん、竹村祐樹さん、経営学科4年の中野聡紀さんに話を聞いた。

ろう学生である長谷川さんと竹村さんの二人は、友人と関わる際に、積極的に筆談でコミュニケーションをとっていたが、「手話で話す方が便利だから、自分たちも覚えたいよ！」と言われたそう。そこで、手話を教え、学びあう時間を作りたい！ということで手話ランチをはじめたそうだ。

実際に「手話ランチ」では、手話の基礎を通訳したり黒板に書いたりしながら、少しずつ教えているという。また、単純に勉強していくのではなく、ゲーム等も交えながら、楽しく学ぶことができるよう、工夫しているそうだ。意外にも苦労はないそう。教えていて『わかった！』という顔を見ると、嬉しくてやりがいがあるという。唯一の苦労は、より楽しく覚えられる方法を模索することだと、笑顔で語ってくれた。悩みは、今のところほとんどが同じ学科の友人だということだ。冷やかしても構わないそうなので、この機会に是非行ってみたい。

最後に手話で『和光大学』を覚えてもらった。下の写真(中央)の左から、『和』(わ、人とのつながりを表す、胸の前で手を組み一回り)、『光』(こう、光りを表す、手を頭の横で開く)、『大学』(だいがく、海外の卒業式で見られる正方形の角帽を表す、親指と人差し指で表現)。



ひみつの食堂

ひとことカード

手話ランチ



(文=山崎)

和光大生の
ランチタイムを彩る、
知って楽しい情報
題して『ワコメシ』

ひみつの食堂

その笑顔も楽しみのひとつ



和光大学の食堂。学生も教職員にとってもなくてはならない大切な場所だ。

今回は、ここで10年以上働いているという阿部章子さんに話を聞いた。なによりも楽しいのは学生とのコミュニケーションがとれることだ。スタッフさん同士の仲も良く年代も近いこの職場は、居心地が良い。そう感じている方が多く、長く働いている方ばかりだという。そんなスタッフさん達の笑顔を見ると、自然とこちらも笑顔になってしまう。そんな笑顔がもらえるのも、食堂の楽しみのひとつである。



笑顔の素敵な食堂の阿部さん

ひみつの食堂

メニューのマル秘!? 裏話



たくさんのメニューで何を食べるか迷う方も多いはず。そんなあなたに知ってもらいたい情報をお届けしよう。

なんといってもポテトフライ(写真)が安い。108円でこの盛り方は驚き!

そして、意外と知られていないのが『14時以降大盛り無料サービス』である。これは14時以降に食堂を利用すると、丼ものと麺類の大盛りが無料になるサービスのこと。お昼の時間になかなか行けない学生や、お金はないけれどお腹いっぱい食べたい学生には嬉しいものである。どちらも儲け度外視で、周辺の大学でもここだけのサービスなので、活用しない手はないだろう。

また、学生の反応を見るべく、グリラ的に新メニューが出ることも。これは特にお昼の時間帯12時~13時に出ることが多いので、それも楽しみにしてもいいかも!?

ひみつの食堂

まだまだあるぞ食堂四方山話



やっぱり知りたい人気メニュー。おかずは写真左の『チキンおろしだれ』が不動。右の『辛みそラーメン』も、麺類では揺るがぬ人気No.1。どちらも間違いなくおいしさなので、迷った時には是非お試しあれ。

ところで、お会計をした後のレシート、皆さん見てみるだろうか? ビュッフェを除く料理は、きちんとカロリー計算がされている。そして、赤・黄・緑の摂取量(3群点数法)、塩分等の情報もプリントされているので、健康志向のあなたも、ダイエットを気しているあなたも、参考にしてみても? くれぐれも食べ過ぎには要注意だ。そして、この春から和光大学でも導入予定の学食パスなるものの情報も教えてもらった。これは、交通系ICカードの様にチャージして使い、食べた物の履歴や栄養情報もホームページで確認できる優れもの。現在19の大学が参加しているこのプロジェクト。食育を考える生協ならではの、食生活相談会の際にも役に立ちそうだ。



Memo

食堂で使っている食材は安心・安全!

食器や不要物は指定の場所へ! 分別をしっかりとしよう!

お昼はとっても混みます。席は譲り合って座ってね!

- ①代表的な活動内容、活動場所を教えてください
 ②学生が参加できる行事等があれば教えてください
 ③地域の方や一般の方が参加される(一緒に行く)行事があれば教えてください
 ④学生へのメッセージ、その他アピールポイントをお願いします



①◎「RAC リーダー講習会」、「プロジェクト WET / プロジェクト トワイルド・エドゥケーター講習会」などの環境教育指導者講習会や刈払い機・チェーンソー安全講習会を主催して学生活動を支援しています。

★「納涼大会」(盆踊り)や「どんど焼き」等の地元地域行事、「鶴見川源流祭」や「鶴見川流域クリーンアップ」などの流域イベント「岡上自然観察会」や「親子川遊び教室」などの学生主催イベントの共催や支援を行っています。

【A 棟ロビー水槽】学生と管理をしています。水槽にいる魚はどれも鶴見川水系、そのほとんどは大学の近くで捕れた魚です。

【地域・流域共生センター】G 棟 3 階 307 教室にあります。地元地域である岡上の資料や、鶴見川の資料のコレクションがあります。また鶴見川流域で採れた魚などの動物が飼育されています。是非一度見に来てください。

②【講習会 (①…◎印のもの)】学内で募集されますので、申し込んでください。原則無料です。

【その他のイベント (①…★印のもの)】どれも誰でも参加できます。ボランティアスタッフとしての参加も大歓迎です。

【地域・流域プログラム】地域・流域プログラムは 4 月の履修期間に登録してください。どの学部学科の学生でも履修できます。

②★印のものはもちろん、かわ道楽の「自然観察会」や「川遊び教室」も地域の方々の参加をいただいています。環境教育指導者講習会も、お申し込みいただければ、実費のみにてご参加いただけます(ただし定員に達したら学生優先)。

④地域・流域共生センターは「足もとの自然」に気づいてもらうことを大事にしていますから、地域・流域共生センターの水槽展示を見に来てください。また岡上や鶴見川についての資料も充実しています。是非、レポートや論文のネタを探しに来てください。足もとの自然に気づくことが、若者の地域社会参加の入り口の一つと考えています。

*詳細は、掲示や地域・流域共生センターの HP をご覧いただくか、同センターにお問い合わせください。

地域・流域共生センター長 堂前 雅史先生(身体環境共生学科)



▼かわ道楽「鶴見川クリーンアップ」

▲どんど焼き



▼国際交流センター集合写真

▲アジアフェスタ

①【アジアフェスタ】

異文化交流室主催の教職員・学生が中心となってアジアに関連するパフォーマンスや展示、アジア料理の屋台を出す年に一度のイベントです。和光ならではのアジアのお祭り!和光だからこそその異文化理解!アジア屋台村が和光大学で実現!

【アジアの茶店】

異文化交流室主催のアジアに関する上映会や討論を行います。

【異文化交流室 (G 棟 1 階)】

留学生達と自由に談話できる部屋で、主に水曜日昼休みにランチを一緒にいかがですか。お弁当を持って来てください。

【留学生交流イベント】

留学生と日本人学生・教職員が交流する場です。食事会やイベントなど年に 3 回実施します。

【留学生サポーター制度】

主に日本人学生が来日した留学生をサポートする制度です。

②異文化交流室(代表:加藤巖先生)とは、アジアに関心を持つ有志教職員や学生が結成する集まりです。様々な活動を通じて、アジアへの理解が深まるので、興味ある学生はどなたでも参加できます。

③アジアフェスタとアジアの茶店はどなたでも参加できます。

④日本の未来の鍵はグローバル展開です。特にアジアを知る・味わう・体感するということを、ぜひとも学生のうちに体験してください。多くの留学生とも交流して、「グローバル」を肌で感じて欲しいと思います。

国際交流センター長 バンバンル ディアント先生(経営学科)

大学で活動していいとも!

和光大学では様々な活動が行われています。そこで今回は、和光大学で活動を行う、4つの場所について、代表の先生方にアンケート形式でお話を伺いました。さて、どんな活動をされているのでしょうか?

①ジェンダーとは、「女らしさ/男らしさ」「男の役割/女の役割」などと表現される「性別に対する見方=性別観」のことです。それは、社会のなかで作られ、維持されており、成長の過程で内面化されます。こうした性別に対する固定的な見方をとらえなおし、ジェンダーに関して平等で公正な社会をめざす動きが、近年、世界的に活発になっています。ジェンダーフォーラムは、こうしたジェンダーについての教育を、和光大学を横断して幅広く行うためにつくられました。G棟 1 階のジェンダーフリースペース (G112) での週 1 回の読書会や、外部講師を招いてのジェンダー関係の講演、ジェンダーに関係した卒論の学部を超えた発表会、ミニフィールドワークなどを行っているほか、ジェンダーに関連した授業を系統的に取った学生に「ジェンダースタディーズプログラム」を修了したという認定証の発行も行っています。

②読書会、講演、ミニフィールドワーク、卒論発表会と、いずれも学生は参加できます。関心がある方はジェンダーフリースペースにお問い合わせください。

③いずれも、参加できます。

④ジェンダーが日常生活や就職、人生にどう影響しているのかを考えること、政府や企業がジェンダーに関してどのような政策をとっているのかを知ることは、これからの社会を生きていくためにとても大切なことです。また、女性はこうでなくてはならないとか、男性はこうでなくてはならないといった個人の可能性を押しさえつけるジェンダーの枠から自由になると、人生はずっと風通しがよくなります。ジェンダーフォーラムの催しに参加することで自由な自分を取り戻しませんか。

ジェンダーフォーラム代表 竹信 三恵子先生(現代社会学科)



▲G棟「ジェンダーフリースペース」にて

ジェンダー関係の講演会▶



▲レクチャーコンサート 2014

◀駅前ばいであ教室

①大学開放センターは、大学の知的資産を市民に開放するとともに、市民の学びの視点から大学のあり方を省みることを目的とし発足しました。「オープンカレッジばいであ(※)」は、どなたでも気軽に参加できる学びの場です。

鶴川駅前教室で行われる「ことば・芸術・文化・社会」群と、和光大学キャンパスで行われる「学生とともに学ぶ」群とがあります。この他に、町田市や川崎市等の自治体と連携し「連続市民講座」「地域連携講座」「レクチャーコンサート」などの大学開放事業を行っています。

※ばいであ(paidia)は「育成、教養」などの意味を持つギリシャ語です。

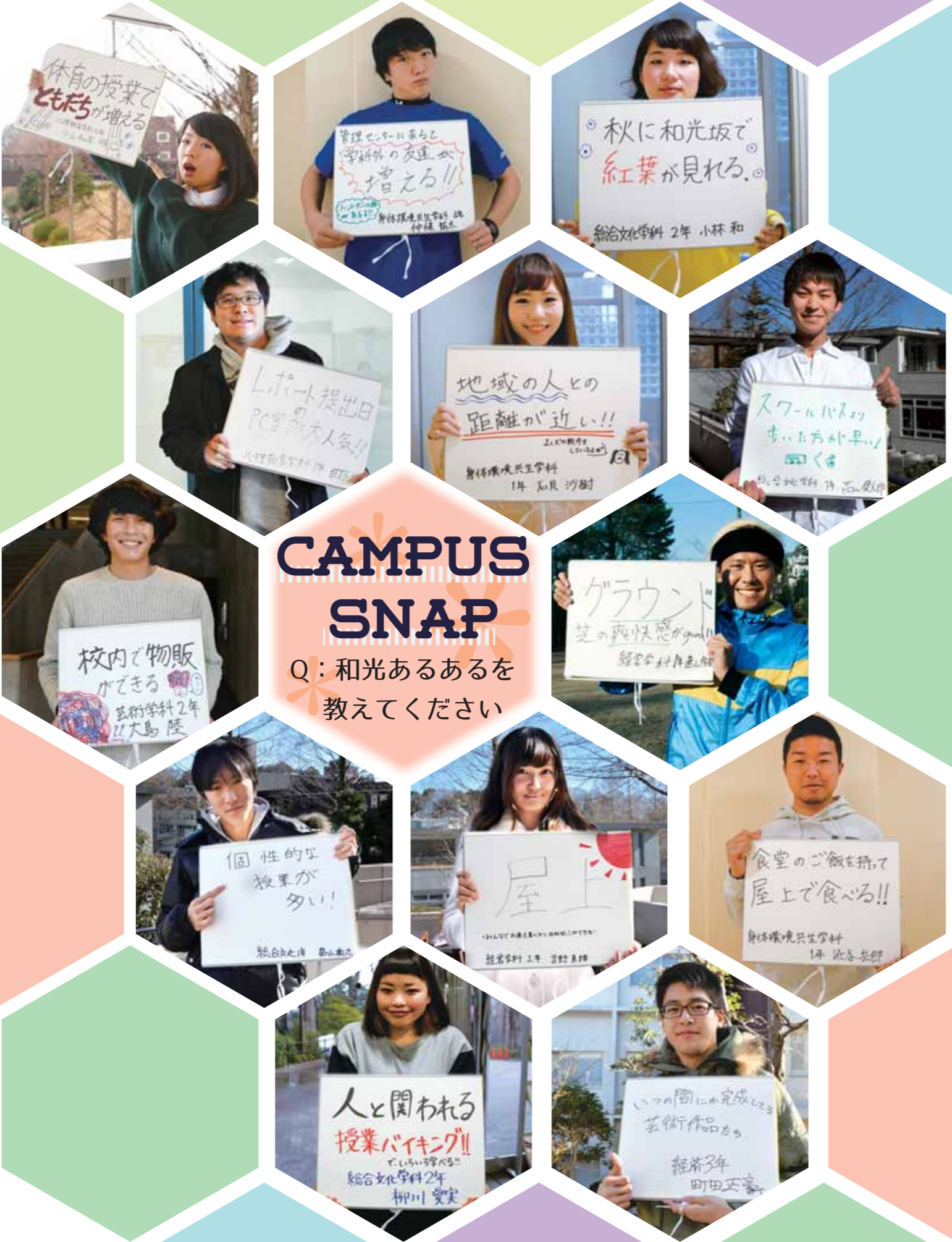
②本学学生は、ばいであ受講料が 5 分の 1 になる特典があ

ります。ぜひチャレンジしてください。

③大学開放センターで取り組むすべての講座・行事が市民・学生に開かれています。

④大学生の皆さんにとっての学びは、大学の講義を聴いて試験やレポートを書くばかりではありません。「学生とともに学ぶ」を受講する市民の方と、機会があれば、ぜひ親しくなってください。そして、講義ノートの取り方から考え方まで、市民の勉強ぶりをぜひ参考にしたいと思っています。いろいろな機会に、学内外でいろいろな方と出会い、生きること・学ぶことの現場に触れつつ、幅広いものの見方や考え方を身につけていってくれることを願っています。

大学開放センター長 岩本 陽児先生(心理教育学科)

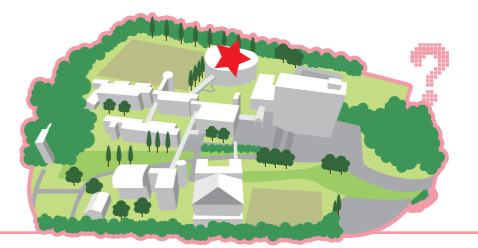


CAMPUS SNAP

Q: 和光あるあるを教えてください

和光はてな見聞録

普段の学生生活ではなかなか知ることのできないモノや場所を調査し、光を当てていく連載企画。



第8回 『E棟スタジオ』

ここ和光大学には、授業や大学生活をより実り多いものにしてくれるような施設がたくさんある。体育館のトレーニングルームや豊富な資料がそろった図書館、なごみの部屋というゆったりとした空間もすてきだ。さて、今回はそんな施設とは一味変わった、そしてハイレベルなスポットをご紹介します！

ずばり、「スタジオ」。響きを聞くだけでもなんだかわくわくする。ここにある機材はどれも一流品でそう簡単にはお目にかかれない貴重なものばかりだ。特に目を惹くのは二台の稼働式カメラやスタンド付きの大きなライト、そして処理速度に定評のある最新のパソコン…。他にも様々な機材やプレイヤーが備わっている。ここでは主に映像の学習、作成、合成、また専門的で質の高い音に関する作業もできる。今回お話をうかがった小瀬村先生によると授業で使うことはもちろん、映像系の卒業制作のために個人で利用する学生もいるという。

さて、今すぐにも行ってみたい所だが、この利用についてはルールがある。最初の利用の際にはこのスタジオに関わりのある先生からの許可が必要なのだ。とりわけ授業でしっかりと機材

の説明を受けた学生が対象となる。まずは授業をとってみたいと先生から学ぶところから始めるのがベストだろう。

学生でも知らない人が多いスタジオ。いろいろな経験ができる大学生の間に、この場所でも活動をしてみるのはいかがだろうか。

(文=群馬)



伝書ばとん

毎回共通の質問を投げかけ、先生から学生へ、学生から先生へとバトンをつないでいく連載企画。

『今一番アツくなれるものは何ですか？』



総合文化学科1年 堀江やまのさん

皆さんは「ヘナタトゥー」というものをご存じだろうか。

「ヘナ」という植物の葉をペースト状にして描くタトゥーのことであり、自然なもので害はないそうだ。またの名を「メヘンディー」ともいう。1、2週間ほどたつときれいに落ちるので、気軽に楽しめるタトゥーとして親しまれている。この和光大学にも、今回初めて「ヘナタトゥー」に挑戦した学生がいる。1年生の堀江やまのさんだ。

エスニック系のお店が好きで、「ヘナタトゥー」のことは前から知っていたものの、今回挑戦するまでなかなかできなかったとのこと。初めてやってみて「楽しかった」と笑顔で答えてくれた。

細かい描写が多い上に、下準備や乾かす時間が必要で、通常は完成までに3時間以上かかるのである。

「でも、乾かしている間も、完成が楽しみです。うろこは意外に簡単なんですけど、曲線とか細かい線が難しいんですよ。本当に楽しかったです。」

真剣な表情で感想を話す堀江さんに、完成したばかりのタトゥーを見せてもらった。ダークブラウンの色合いで美しい柄が描かれている。あまりのクオリティの高さに、本当に初めて描いたタトゥーなのかと驚いた。なんとオリジナルの模様なのだそうだ。

「今は足にしか描いてませんが、いつかもっと広い範囲に挑戦してみたいと思っています。」

「ヘナタトゥー」はエスニック系のお店で手に入るとのこと。また、デザインの画集もお店に売っているので、気軽にチャレンジ出来るそうだ。皆さんもぜひ挑戦してみたいはかがだろうか。

堀江さんが次にばとんを繋ぐのは、芸術学科の小瀬村先生。次回もお楽しみに！

(文=中條)



ノートテイク / 学生支援室

ノートテイクとして、障がい学生の授業をサポート

授業中、聴覚障がい学生や肢体不自由学生の隣に座り、音情報を書き留めるノートテイクを募集しています。現在約 50 名の学生がノートテイクとして活躍中です。科目数に応じた謝礼あり。

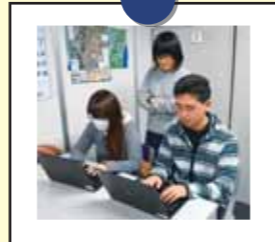
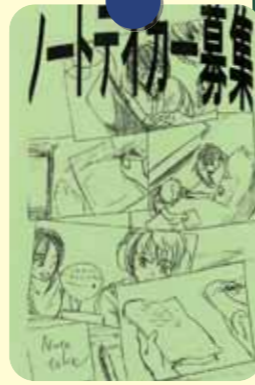
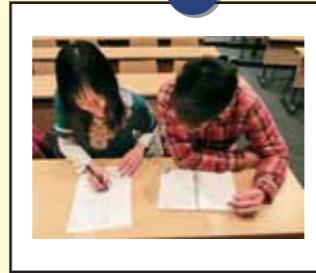
□特徴

- 日常のノートテイクや交流会などを通じて、障がい学生、他のノートテイクとの繋がりができ、友人も増えます。
- ノートを取る力や話を要約する力が身につく、自分の勉強や就職活動に役立ちます。
- 初めての人でも安心して取り組めるように、基礎技術の講習会を実施しています。
- 人の役に立つのが好きな方、大学に入って新しいことに挑戦してみたい方、パソコン入力得意な方、ぜひ応募してください。

□こんな活動もあります。

情報保障団

普段の授業以外にも、入学登録や学科オリエンテーションの要約筆記（パソコンテイク）など、様々な活動をしています。定期的に練習会を開催しますので、パソコンテイクが初めてという方も大歓迎です（謝礼あり）。



□申込・問い合わせ
学生支援室 (A棟 3階) まで

留学生サポーター / 学生支援室

国際交流センターで留学生と交流を深める

留学生の学修相談にのったり、気軽な話し相手になったり、ハイキングなどの交流イベントを企画運営する「サポート学生」を募集しています。

□特徴

- 留学生歓迎会、留学生交流遠足などの国際交流イベントの企画・運営を行っています。
- 異文化交流や海外に関心がある方、いろいろな人と関わりたいという方、ぜひ参加してください。

□申込・問い合わせ
学生支援室 (A棟 3階) まで

オープンキャンパス スタッフ / アドミッションセンター

学生スタッフとしてオープンキャンパスを盛り上げる

大勢の受験生をむかえるオープンキャンパスで、受付や案内をしてくれる元気で責任感のある学生スタッフを募集しています。アルバイト登録制。4月上旬より受付開始予定。

□特徴

- 和光大学のおもしろさ、学び方などを、受験生に伝えることができます。
- オープンキャンパスの前にはスタッフミーティングや研修を受けられるので、はじめての方も自信を持って当日を迎えられます。

□申込・問い合わせ
アドミッションセンター (A棟 1階) まで



Let's Read Project・対面朗読スタッフ

/ 図書・情報館

図書・情報館で、本にまつわる企画にたずさわる

対面朗読で、視覚障がい学生をサポートする

読書や本にまつわる企画・イベントを計画・実行する「Let's Read Project」のメンバーを募集しています。「選書ツアー」の開催や館内の常設コーナーでのテーマ別企画本棚の公開、ビブリオバトルの開催など、新たなアイデアも続々登場しています。

(対面朗読サービス：視覚障がい学生の図書・情報館利用を援助するために実施) 1年間(または半年)、授業の空きコマに視覚障がいのある学生とペアを組み、本やプリントの代読、資料探しのお手伝いなどの、図書・情報館利用のサポートをする学生を募集しています。週1コマ。年2回朗読料を支給しています。

□特徴

- 学年も所属学科も多様な学生が集まっているので、館内に設けられたLRPルームでは、本やマンガなど、いろいろなジャンルの話題で交流できます。
- フリーペーパー「Counter」の発行やポスター制作などを通じて、表現のスキルを身につけることができます。

□特徴

- 年度初めに募集し、授業の空き時間をもとに調整します。
- 図書・情報館の仕事や調べものに関心のある学生の皆さん、人の役に立ちたい、視野を広げたいという方、ぜひ参加してください。

□学生メンバーからの声

選書ツアーに参加したり、館内の本をセレクトして本棚を作ったりするなかで、自分が知らなかった本の世界を知るおもしろさ、自分が紹介した本を読んでもらえる楽しさを経験できました。

□申込・問い合わせ
梅根記念図書・情報館まで



★2014年度新入生歓迎本棚ポスター

広報冊子作成スタッフ

/ 企画広報係

『WAKO CIRCLE』をつくり編集の腕をみがく

年2回発行している広報誌の制作をしていただける方を募集します。

□特徴

- この冊子『WAKO CIRCLE』は学生スタッフとともに作成しています。企画、取材、執筆、撮影、レイアウトなど編集作業に興味のある学生を募集中。謝礼あり。

□申込・問い合わせ
企画広報係 (A棟 1階) まで



学生キャリアアドバイザー

/ キャリア支援室

内定を取った経験を活かし、
3年次生の就活をバックアップ

内定を獲得した卒業年次生を対象に、キャリア支援行事のお手伝いなど後輩の就職活動をバックアップする「学生キャリアアドバイザー」を募集しています。登録制。謝礼あり。

□特徴

- 「自分の経験なんて役に立たないのでは」「大企業に入った経験でなければ相手にされないのでは」そんなことはありません、自分の失敗や苦勞を後輩のために活かしたい！という方をお待ちしています。

□申込・問い合わせ
キャリア支援室 (A棟 3階) まで





事業室 A棟3階

●通勤・通学時のマナーについて
やむを得ず自動車を利用しなければならぬ方以外に駐車スペースを確保することはできません。徒歩・スクールバスでの通学・通勤をお願いします。

また、道いっぱいに広がって歩く、タバコのポイ捨て、夜間の大声での談笑など地域住民の方から苦情が届いています。思いやる心を持って通行するよう心掛けてください。

教学支援室 A棟2階

●単位取得簿交付(2年生以上)
4月4日(土)、6日(月)、7日(火)の学科別の学年指定オリエンテーション会場で交付します。学生証持参の上、必ず出席してください。
詳細は、各学科の掲示板または大学ホームページで確認してください。

Campus Information

●履修相談
学習計画や受講科目履修のことなど、教学支援室で相談に応じています。
●受講科目登録期間 4月15日(水)、16日(木)
※受講科目履修の記入や、履修登録単位数の上限については、「学修の手びき」をよく読んでください。

●前期授業開始
前期(大学院は春セメ)の授業開始は4月8日(水)です。

●受講登録科目の確認について
受講登録した科目のリストを、5月初旬に本人宛に郵送します。誤りがあった場合は、期間内に訂正の手続きをしてください。
●訂正期間
5月8日(金)・11日(月)・12日(火)

学生支援室 A棟3階

●学生用ロッカーについて
貸与期間は16年1月末まで、利用料は年間千円です。応募者多数の場合は抽選をします。利用申込の受付は、学生支援室です。
●受付期間 4月6日(月)～17日(金)

●セミナーハウスの利用について
和光大学セミナーハウス「鶴舞青年の家」を、サークルやゼミの合宿で利用できます。体育館、テニスコート、グラウンドもあり、パーベキューもできます。利用の際には1か月前までに手続きを行ってください。
●利用可能期間 7～9月、2～3月

●学生相談室 TEL044-9499-0004
月～金の週5日、11時15分から1日5コマでカウンセラーが相談に応じています(1コマ45分、予約制)。予約や詳細についてはG棟学生相談室までお問い合わせください。

医務室 G棟1階

●健康診断と再検査等について
健康診断(在学生)は、4月4日(土)、6日(月)、7日(火)に行います。健康診断で再検査や校医面談を指示された方は、お伝えした実施日時に必ず医務室に来てください。

●健康診断証明書について
大学で健康診断を受け、かつ再検査等指示をすべて済ませた方のみ、5月中旬から自動発行機で発行ができます。ホームページや掲示板などで発行開始日を案内する予定です。詳しくは医務室までお問い合わせください。

●感染症への注意と予防
37度5分以上の発熱や体調不良時は、何らかの感染症にかかっている場合もありますので、登校前に受診するなどの対応と普段の予防をお願いします。

キャリア支援室 A棟3階

●4年生の皆さん
キャリア支援室には企業から寄せられた求人票があります。将来の可能性を広げて就職活動に挑戦してください。履歴書のチェック

和光大学同窓会

●同窓会メンバー募集中
同窓会の活動を楽しく、意味のあるものにするために是非ともお力をお貸し下さい。
第2回和光大学同窓会作品展「おかがみ」実行委員/地方幹事(山梨支部稼働中)/同窓会誌寄稿者(近況報告、イラスト、漫画等)・編集委員/HP 原稿執筆者、更新作業者/現役生の就職支援をして下さる方(一般企業福祉、教職関係)/寄付(一口五千円)
詳細はHPをご覧ください。Eメール・FAXにてお問い合わせください。
Eメール:dousoukai@wako.ac.jp
FAX:044-9499-0008

や面接の練習も受け付けています。
●3年生の皆さん
各企業は3年生向けにインターンシップを実施しています。社会人と接する貴重なチャンスです。自分の興味のある企業・団体で積極的に体験しましょう。キャリア支援室にて、各企業から届く案内を見ることが出来ます。

●保証人の皆さま
学年に関係なく、進路決定のサポートをキャリア支援室で行っております。就職活動など進路について学生本人が迷っている際は、足を運ぶようにお声かけください。

企画室 A棟1階

●学生研究助成金の募集
学生・専攻科生で学術研究等に顕著な成績を挙げられると思われる個人またはグループを対象に、学生研究助成金を支給します。
●給付額 1件5万円以内
●場合により増額あり。ただし10万円を超えないものとする。
●受付期間 5月1日(金)～29日(金)

●授業アンケートについて
14年度に実施した授業アンケート結果をホームページで公表しています。

●オーブン・カレッジばいであのご案内
どなたでも受講できる市民講座です。本学在生は受講料が5分の1になります。企画広報係までお問い合わせください。

奨学金・減免制度

●和光大学優秀者奨学金
【対象】 2～4年次生
【給付額】 42万5千円
【採用人数】 8名以内
【申請時期】 4月上旬～4月下旬
【選考基準】 学力基準のみ
●和光大学給付奨学金
【対象】 2～4年次生
【給付額】 42万5千円(後期分授業料)
【採用人数】 70名以内
【申請時期】 5月下旬～6月中旬
【選考基準】 学力基準および家計基準
●日本学生支援機構奨学金
日本学生支援機構奨学金の貸与を新たに希望する方は、申請説明会を開催しますので、どちらかの説明会に必ず出席してください(※内容はどちら同じです)。
【日時】
①4月6日(月) 12時10分
②4月10日(金) 12時10分
【場所】 E棟101教室
※高校在学時に日本学生支援機構奨学金採用候補者に決定した方は出席する必要はありません。

●私費外国人留学生を対象とした奨学金
私費外国人留学生対象の説明会を開催します。
【日時】 4月8日(水) 12時15分～12時55分
【場所】 A棟4階第2会議室

Campus Calendar

4 April

編入生・転入生オリエンテーション
再入学オリエンテーション
新入生健康診断

2(木)

入学登録
父母懇談会

3(金)

学科別オリエンテーション()
資格課程オリエンテーション()
東京工芸大学単位互換オリエンテーション
在学生健康診断

4(土)

学科別オリエンテーション()
在学生健康診断

6(月)

日本学生支援機構奨学金申請説明会
短期語学留学オリエンテーション

7(火)

学科別オリエンテーション()
東京工芸大学単位互換オリエンテーション
資格課程オリエンテーション()
在学生健康診断

8(水)

前期授業開始

10(金)

日本学生支援機構奨学金説明会

15(水)

受講科目登録

16(木)

5 May

学生研究助成金の募集受付
(～5月29日まで)

1(金)

受講科目登録訂正期間
(～5月12日まで)

8(金)

()詳細は、オリエンテーション日程表を確認してください。

はらだ なおゆき
原田 尚幸

経営学科教授

専攻分野

スポーツマネジメント



スポーツマネジメントが専門分野で、スポーツをビジネスの視点から捉える授業を開講しており、フットサルやバスケットボールなどのスポーツ実技も教えている原田尚幸先生。趣味でもあり、仕事でもあるスポーツについて詳しくお話を伺った。

スポーツを現地で観戦することの大切さ

原田先生の講義では、自らが現地で撮影してきたスポーツの写真を使っているという。現地で観戦してこそ感じるものがあるそうだ。2006年のドイツワールドカップの決勝でジダン選手が頭突きをし、一発レッドで退場した。テレビではその瞬間をしっかりと映していたのだが、先生を含めた約7万人の観客は何が起こったかわからず、会場は大ブーイングとなり、スタジアム全体が異様な雰囲気になっていったという。テレビと現地とでのギャップに気づいた先生は、直接観戦することで得られる情報の価値に気づいたのだという。

スポーツと平和

スポーツといえば、話題となっているのが2020年に開催が決まった東京オリンピックだろう。オリンピックが開催できるということはまずそこには平和が存在しているということなのである。オリンピック期間は休戦する、とも言われているほどだ。先生はプロ野球球団のカーブで有名な広島生まれで、被爆2世であるという。戦後、お好み焼きと一緒にカーブの勢いも相まって復興してきた。そんな全盛期に先生は育ったのだと言い、平和とスポーツが切っても切れない関係にあることを教えてくれた。

「感謝の日」にしよう

前回の東京オリンピックの開会日は現在の「体育の日」になっている。先生は、今回の開会日を何の日にしたいかと考えてみたところ「感謝の日」という案を思いついたそうだ。2020年のオリンピック開催は、震災復興の後押しも兼ねているという。その前に、私たちは全世界の目が集まる場所で震災時にたくさんの国から支援をしてもらったことに対してお礼を言うべきなのではないか。そしてその日は今後「だれかに日ごろの感謝を伝える日」になったら素敵だとも話してくれた。胸がとても暖かくなる提案だ。

(文＝群馬)

*原田先生は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において大学連携活動を担当しています。

学生スタッフ (50音順)

- | | | | |
|------------|-------|------------|------------|
| 菅野結花 (12G) | 撮影 | 松永美織 (11G) | レイアウト |
| 群馬叶恵 (13T) | 取材執筆 | 安川和美 (12G) | レイアウト |
| 小林和 (13T) | 撮影 | 山崎治 (14Q) | レイアウト・取材執筆 |
| 小山裕子 (12G) | レイアウト | 山田大貴 (12T) | 取材執筆 |
| 中條志穂 (13P) | 取材執筆 | | |

お問い合わせ先：企画広報係 (電話 044-988-1433)

新任教員の紹介 (15・4・1付)

- ① 最終学歴
 - ② 主な経歴
 - ③ 専攻分野
 - ④ 趣味・特技
- | | | | |
|---|--|---|--|
| <p>① 心理学教育学科
菅野 恵
(かんの・けい)</p> <p>① 心理学教育学科
行田 稔彦
(こうだ・としひこ)</p> <p>① 心理学教育学科
山下 暁子
(やました・きょうこ)</p> <p>① 心理学教育学科
馬場 淳
(ばば・じゅん)</p> <p>① 総合文化学科
近藤 忠
(こんどう・ただし)</p> <p>① 総合文化学科
佐藤 真理子
(さとう・まりこ)</p> | <p>① 心理学教育学科
中田 朝夫
(なかだ・あさお)</p> <p>① 現代社会学科
劉宿 紀子
(かりやど・のりこ)</p> <p>① 総合文化学科
近藤 忠
(こんどう・ただし)</p> <p>① 芸術学科
佐藤 克久
(さとう・かつひさ)</p> | <p>① 心理学教育学科
菅野 恵
(かんの・けい)</p> <p>① 心理学教育学科
行田 稔彦
(こうだ・としひこ)</p> <p>① 心理学教育学科
山下 暁子
(やました・きょうこ)</p> <p>① 心理学教育学科
馬場 淳
(ばば・じゅん)</p> <p>① 総合文化学科
近藤 忠
(こんどう・ただし)</p> <p>① 総合文化学科
佐藤 真理子
(さとう・まりこ)</p> | <p>① 心理学教育学科
中田 朝夫
(なかだ・あさお)</p> <p>① 現代社会学科
劉宿 紀子
(かりやど・のりこ)</p> <p>① 総合文化学科
近藤 忠
(こんどう・ただし)</p> <p>① 芸術学科
佐藤 克久
(さとう・かつひさ)</p> |
|---|--|---|--|

退職される教員の紹介 (15・3・31付)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| <p>① 心理学教育学科
菅野 恵
(かんの・けい)</p> <p>① 心理学教育学科
行田 稔彦
(こうだ・としひこ)</p> <p>① 心理学教育学科
山下 暁子
(やました・きょうこ)</p> <p>① 心理学教育学科
馬場 淳
(ばば・じゅん)</p> <p>① 総合文化学科
近藤 忠
(こんどう・ただし)</p> <p>① 総合文化学科
佐藤 真理子
(さとう・まりこ)</p> | <p>① 心理学教育学科
中田 朝夫
(なかだ・あさお)</p> <p>① 現代社会学科
劉宿 紀子
(かりやど・のりこ)</p> <p>① 総合文化学科
近藤 忠
(こんどう・ただし)</p> <p>① 芸術学科
佐藤 克久
(さとう・かつひさ)</p> | <p>① 心理学教育学科
菅野 恵
(かんの・けい)</p> <p>① 心理学教育学科
行田 稔彦
(こうだ・としひこ)</p> <p>① 心理学教育学科
山下 暁子
(やました・きょうこ)</p> <p>① 心理学教育学科
馬場 淳
(ばば・じゅん)</p> <p>① 総合文化学科
近藤 忠
(こんどう・ただし)</p> <p>① 総合文化学科
佐藤 真理子
(さとう・まりこ)</p> | <p>① 心理学教育学科
中田 朝夫
(なかだ・あさお)</p> <p>① 現代社会学科
劉宿 紀子
(かりやど・のりこ)</p> <p>① 総合文化学科
近藤 忠
(こんどう・ただし)</p> <p>① 芸術学科
佐藤 克久
(さとう・かつひさ)</p> |
|---|--|---|--|



OUR NEIGHBORS

Vol.18

～ 隣人探訪 ～

代官山 蔦屋書店 ブックコンシェルジュ **間室 道子さん**

今回で登場いただくのは和光大学の卒業生間室道子さんだ。現在、代官山 蔦屋書店でブックコンシェルジュをしているその傍ら、新聞、雑誌では6つ、テレビでは2つの書評コーナーを受け持っている。

間室さんが和光大学を進学先にした理由は推薦制入試での受験科目が「面接と小論文」であったからだという。小論文には自信があり、「受かる気しかしない！」と思ったことで和光大学への受験を決めたそうだ。学生の時に受けた講義の中で最も印象に残っているものが性差を研究していた服部百合子先生の講義だ。男女混合、男子のみ、女性のみなど、さまざまなチームでドッジボールをすることで、その時々の男女の動きの違いを見るなど、ユニークな講義が行われていたという。服部先生のような着眼点を持つ人にふれることで「興味のあることへのアプローチの仕方に決まりはないのだな」と自由なものの見方を得るきっかけになったという。

実家が書店を営んでいる間室さんにとって「本」というのは物心がつく前から身近な存在だったが、本に関係した仕事に就こうと考えたのは卒業してからであった。卒業後、いくつかのアルバイトを経て、六本木にある書店での仕事を始めた。間室さんは「この時に初めて『本屋の娘』でいることと『本屋』で働くことは全くの別物であることに気づいた。本屋は居心地がよく、これは外にでたからこそ感じたことでしたね。」と話してくれた。

その後、代官山蔦屋書店で働くこととなった間室さんは、「本屋」の働き手として、現在も居心地の良い本屋づくりに貢献している。

心がけていることは、「次につながる仕事をする。今の時代、テレビや雑誌で書店員が本を薦めることは珍しくない。でも皆、一回なんとかこなして終わりです。見た人に“あいつは使える！うちにも出て欲しい！”と思ってもらえる人は少ない。何を推すかも大事ですけど、自分にどういう役割が求められているかを考え、作戦を立てて出しています（笑）。」

代官山 蔦屋書店では間室さんのPOPが立ち並ぶ通称「マムロコーナー」が名物となっている。「こういうのがリアル書店の強みですよ。まだまだ出来ることはたくさんありますよ！」と前のめりで語る間室さん。このエネルギーこそが彼女の魅力なのだ。

(文=山田)

